

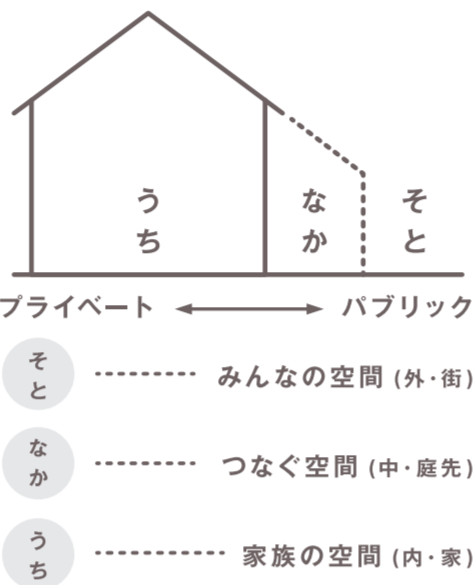


「うち」と「そと」そして「なか」という共通のコンセプトと立地特性を活かしたバリエーション豊かな各戸のプラン

1 共通のコンセプト

「うち」と「そと」そして「なか」

「うち」「そと」そして、その中間にある「なか」。この3つの空間要素を、幅員6mの道路から約3mセットバックした建物に付随して必ず取り入れることで、色々なスケールや雰囲気「場」を点在させ、住民がパブリックとプライベートを使い分けられる構成とした。



2 共通の素材

道南杉の外壁と屋久島地杉のウッドデッキ



2 各戸の多様性

3事業社の強みと立地特性を活かしたバリエーション豊かな11戸

No. 9 アウトドアライフを楽しめる家



少し奥まった広いエントランスデッキを中心に土間・和室・LDKが繋がる。大きな庇があり、雨の日も晴れの日もアウトドアライフを楽しめる。



No. 7 オープンリビングを生み出す家



建物の凹みが、外であり内であるオープンリビングを生み出し、外部とLDKを互いに取り込み、広がり演出。階段と一体になった吹抜け空間が光と風をLDKに運ぶ。

No. 6 四季を楽しむ家



緑地隣接の特徴を活かし、オープン・クローズの空間をイメージ。1階はコートテラスでプライバシーを確保。7m幅のハイサイドライトから緑地帯が絵画のように広がる。2階はスタディコーナーやバスコートから「四季を感じる暮らし」を楽しむことができる。



No. 1 回遊土間のある家



玄関から土間そしてウッドデッキへと流れをつくり、そこに住空間のLDKが隣接。大きなウッドデッキには屋根のある場所と無い場所があり、ゆるやかに屋外と繋がっている。



No. 3 家族が囲むダイニングキッチンが外に広がる家



アイランドカウンターのあるダイニングキッチンと繋がるウッドデッキ。ホールから広がる吹抜けが光を運び空間を豊かにする。

No. 5 大きなバルコニーが暮らしにアクセントを生み出す家



隣地が緑地という立地を活かした2階リビング。ダイニングにつながる2つの性格を持つバルコニーが暮らしにアクセントを生み出す。

